

夢洲における物流交通対策について

令和4年12月2日
大阪港湾局

万博開催時の物流交通対策（案）

①CONPAS(※)の導入

(ゲート処理時間の短縮等)

・令和4年8月に2回目の試験運用実施

→ゲート受付時の処理時間60秒削減を確認(69秒→9秒)

・令和5年度中の本格運用をめざす

(※) Container Fast Passの略

②車両待機場の整備 済

(240台分確保)



③ターミナルゲート時間延長

(30分で最大200台分散)



(通常) 平日: 8:30~11:30, 13:00~16:30

土曜: 8:30~11:30

④荷捌き地の拡張 (ゲート増設)

(ゲート前待機スペース100台分確保)

(ゲート増設により、1時間当たり120台削減)

・令和5年度末完成予定



(写真はイメージ)

⑤咲洲へシフト

⑤-2. 空コンテナ返却場所一時移転

・令和3年10月に夜間陸送による社会実験を実施

・令和4年11月に海上運搬による社会実験を実施

②車両待機場の整備

(150台分確保)

・令和5年3月末完成予定

⑤咲洲へシフト

⑤-1. 船舶着岸場所一時移転

・令和4年度中にC6,7ガントリークレーン製作設置工事に着手予定

⑤-2. 空コンテナ返却場所一時移転

・令和4年11月に海上運搬による社会実験を実施

≪③ゲートオープン時間の延長、⑤咲洲へシフトは万博期間中のみの対策≫

物流交通対策概略工程（案）

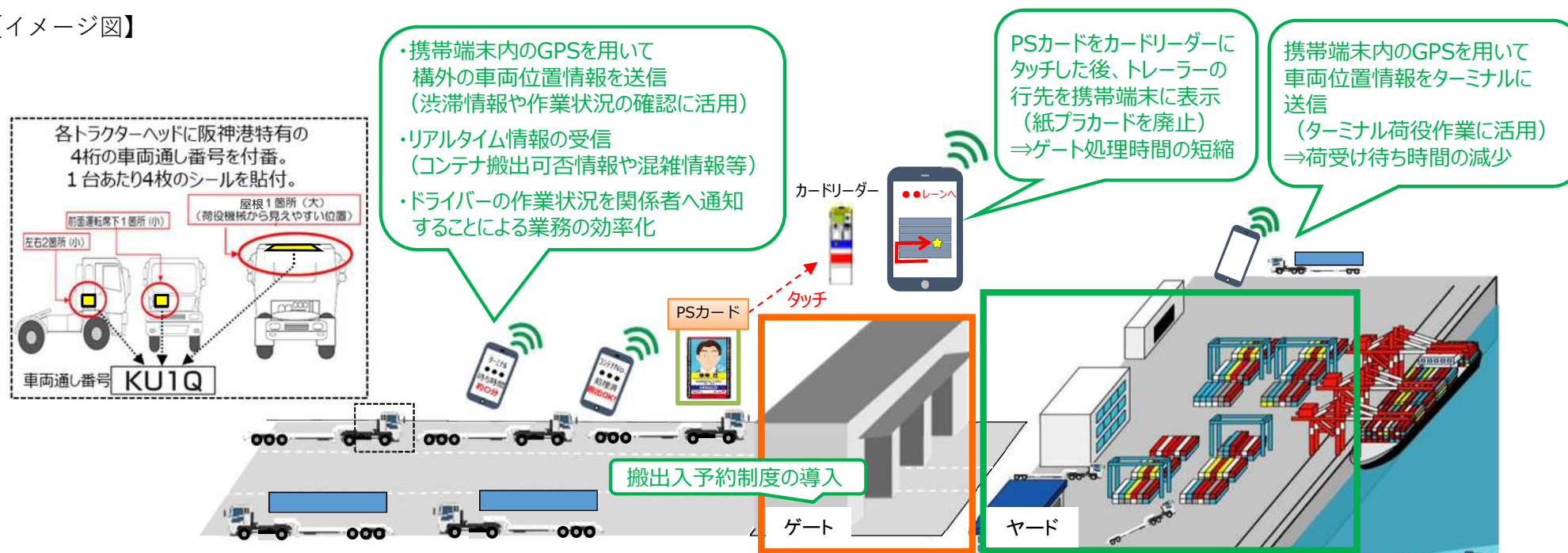
**万博
開催**
R7.4.13～10.13

項目	概要	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025
		R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
①CONPASの導入	新・港湾情報システム（CONPAS）				概略・詳細設計、 試験期間中の改修	試験運用等	順次導入	本格運用
②車両待機場の整備	夢洲での追加整備		詳細設計	工事	R4.1.31～ 供用開始			
	咲洲での追加整備		概略設計	詳細設計	工事	供用開始		
③ターミナルゲート時間延長	早朝等ゲートオープン時間の延長	社会実験	検討・協議等			社会実験		実施
④荷捌き地の拡張（ゲート増設）	C12コンテナターミナル拡張※、ゲート増設 （※ 増設ゲート周辺部分）	検討・協議等	詳細設計		コンテナターミナル拡張工事 増設ゲート工事	システム導入	運用	
⑤咲洲ヘシフト	船舶着岸場所一時移転 空コンテナ返却場所一時移転	検討・協議等	詳細設計		ガントリークレーン整備	試行期間	本格稼働	
			社会実験 R3.10実施	社会実験		社会実験		

進捗状況 1

① 新・港湾情報システム（CONPAS）の導入

【イメージ図】



《導入スケジュール》

- ・ 令和4年1月27日、28日 夢洲（DICT）において試験運用を実施。 ➡ システムが問題なく稼働することを確認。
 - ・ 令和4年8月22日（月）～9月2日（金） DICTにおいて2回目の試験運用を実施。
➡ 結果については次ページ参照。
- ⇒ 令和5年度中の本格運用をめざす。

* 1,2回目の試験運用の対象：
輸入コンテナ（搬出・実入り）

※工事車両運行管理システムとCONPASの連携

- ・ CONPASにおけるコンテナ車両の事前予約情報（時間帯ごとの搬出入台数）を工事車両運行管理システム側へ提供する等、情報連携に向けて検討中。

進捗状況 1

① 新・港湾情報システム（CONPAS）の導入

【DICTにおける試験運用の様子】



①CONPAS車の車両待機場到着、予約確認、待機場内専用レーン通行



②ターミナルゲート到着
③INゲートでの入場手続き
(PSカードの読取り)



④ドライバーに貸与した携帯端末へのヤード内行先表示
(コンテナ蔵置場所表示)

- ⑤ヤード内でのコンテナ積み込み作業
⑥OUTゲートでの退場手続き
⑦CONPAS車のターミナル出発

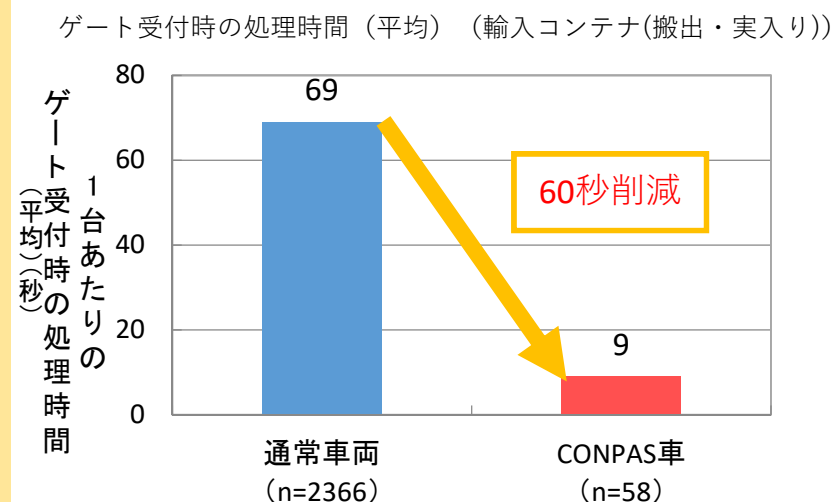
《第2回試験運用 実施概要》

- ・ 時 期：令和4年8月22日(月)～9月2日(金) (約2週間)
- ・ 場 所：夢洲コンテナターミナル (DICT)
- ・ 参加社数：海運貨物取扱業者 11社
海上コンテナ輸送事業者 11社
- ・ 実施内容：1)営業コンテナ（輸入コンテナの搬出・実入）を対象としたゲート処理の運用・効率化の検証
2)待機場を活用したCONPAS運用ルールや動線の確認

・ 予約枠設定：60分枠(基本)、7枠/日、15台/枠

➡予約件数（実績）：161件

ゲート受付時の処理時間60秒削減を確認



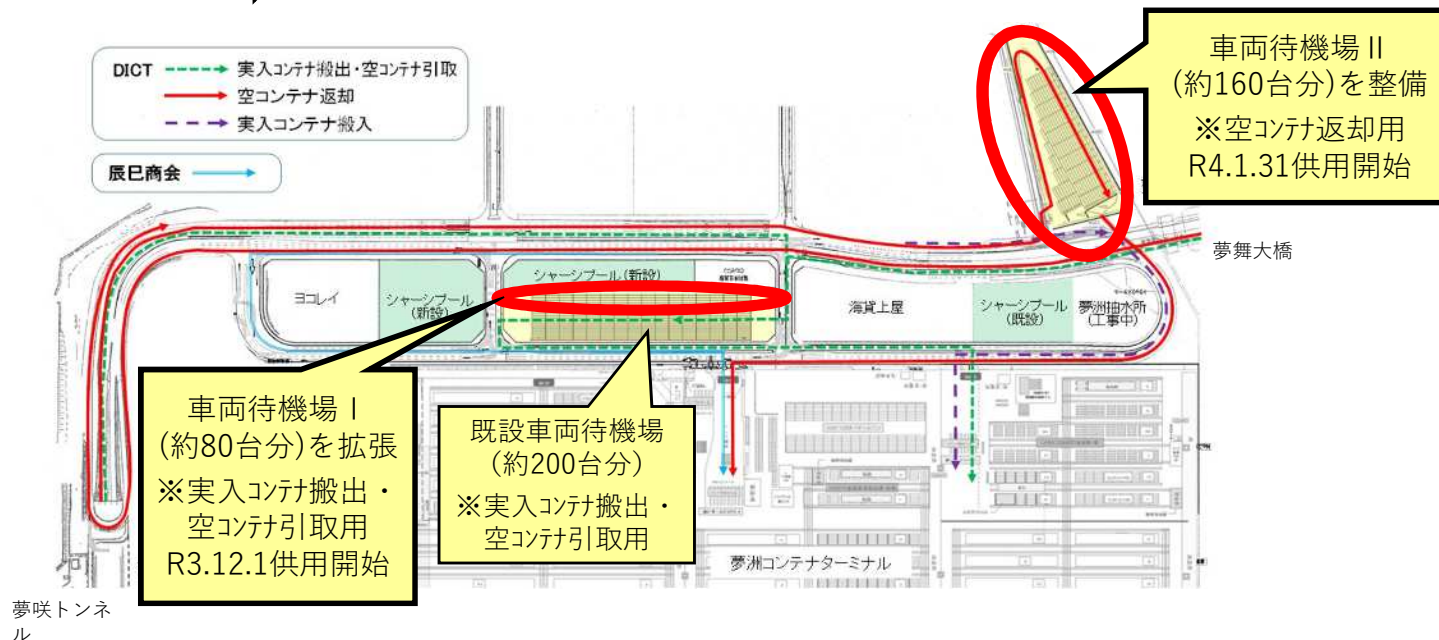
※通常車両(輸入コンテナ（搬出・実入り）)のゲート受付時の処理時間は、大阪港DICT第1回CONPAS試験運用(令和4年1月)での計測値を使用。

進捗状況 2

② 車両待機場の整備

＜夢洲＞ 令和3年度に約240台分を追加整備し、既設待機場と合わせて合計で約440台分の待機場を確保済み。

➡ 幹線道路上のコンテナ車両の滞留列は一定解消。

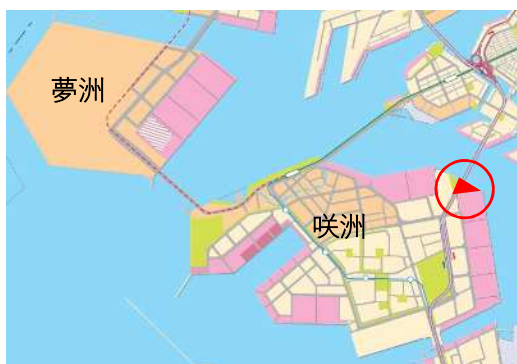


車両待機場Ⅱの使用状況



現在の幹線道路の状況

＜咲洲＞ 車両待機場(150台分)の整備について、令和4年3月工事着手、令和4年度末完成予定。



咲洲車両待機場位置図



工事状況 (R4.10)

進捗状況 3

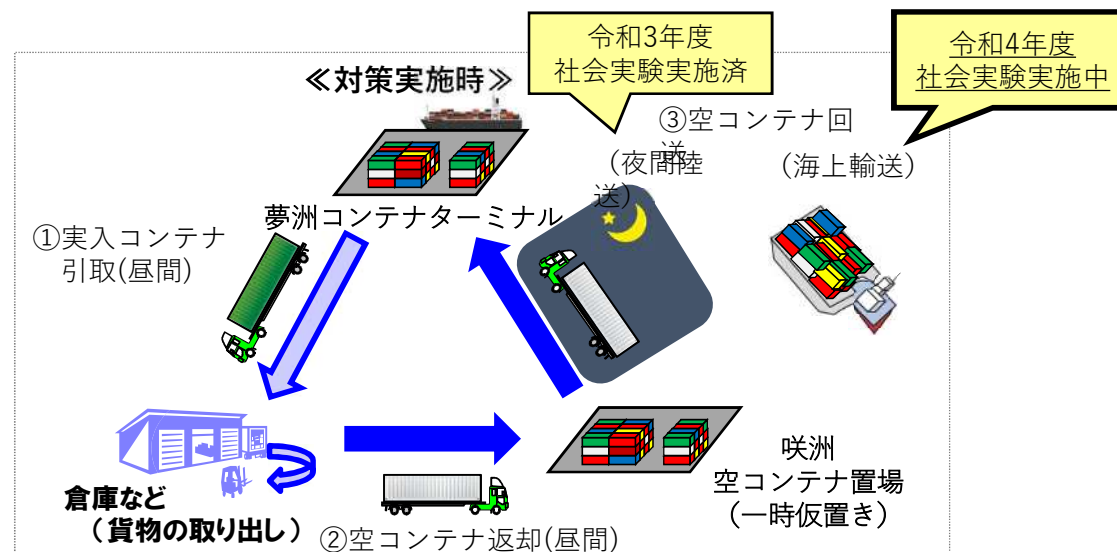
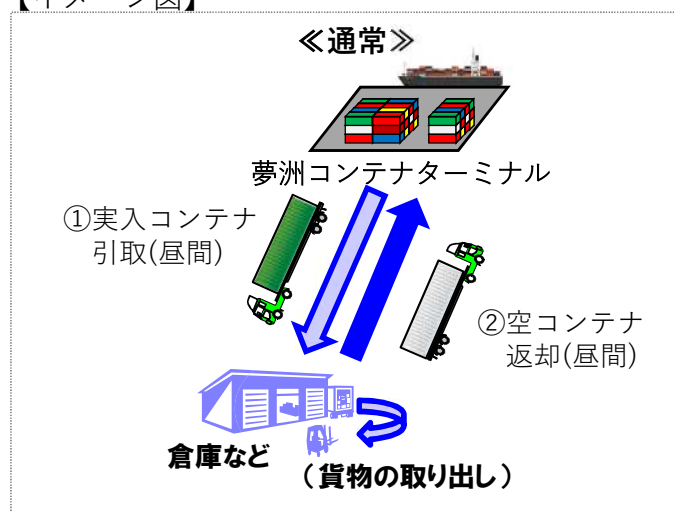
⑤-1 船舶着岸場所一時移転（咲洲C6,7埠頭 ガントリークレーン整備）

- ・令和4年度中に製作工事に着手予定。※設計業務を完了し、現在は工事契約手続き中（10/3 公告済、12/6 開札予定）

⑤-2 空コンテナ返却場所一時移転

- ・令和3年度に社会実験を実施。 ➡ 13時時点の夢洲道路上待機台数▲21%（155台/日→123台/日）を確認。
- ・令和4年度の社会実験について、11月7日より実施中

【イメージ図】



《令和4年度社会実験実施概要》

●その1

- ✓ 実施時期：令和4年11月7日(月)～11月30日(水)
- ✓ 実施場所：咲洲C1コンテナターミナル

●その2

- ✓ 実施時期：令和4年11月21日(月)～12月16日(金)
- ✓ 実施場所：咲洲C6,7ターミナル

- ✓ 回送方法：海上輸送

